

お月見団子づくり（小麦粉粘土あそび）

秋の制作は小麦粉粘土でお月見団子を作りました。小麦粉粘土あそびではサラサラの粉に水や塩などを混ぜていき、ベタベタやポロポロなど手触りの変化を感じながら粘土を作っていきます。

サラサラの状態では触ってみて真っ白になった自分の手を観察したり、指でつまんでばらばらと粉を降らせたりしていました。そこにお水を少しずつ入れていくのですが、サラサラの粉がべちゃべちゃになっていく様子にびっくり！思わず手を引っ込める子もいたり、おそろおそろ触る子や思いっきりべちゃべちゃの感覚を掌いっぱい確かめる子など反応は様々です。

小麦粉や水を足しながら固さを調整しながら徐々に粘土に仕上げていきます。お友だちの作っている様子が気になってのぞき込んだり、出来上がった粘土の交換を持ち掛ける子もいたりなど周りのお友だちも意識しながら制作を楽しみました。

出来上がった粘土は、指先を使って小さくちぎったり掌を合わせてコロコロ上手にお団子の形を作ってみたりなど思い思いのお月見団子を作っていきます。手で直接触るのがドキドキする子には、道具を使って型を取ったり、大好きなキャラクターの人形にくっついた粘土を取ってみるなど、スタッフやお母さんがあの手この手で触ってもらう経験をしてもらいました。



出来上がった色とりどりのお月見団子はのびこの壁面掲示物と一緒に展示しています。

